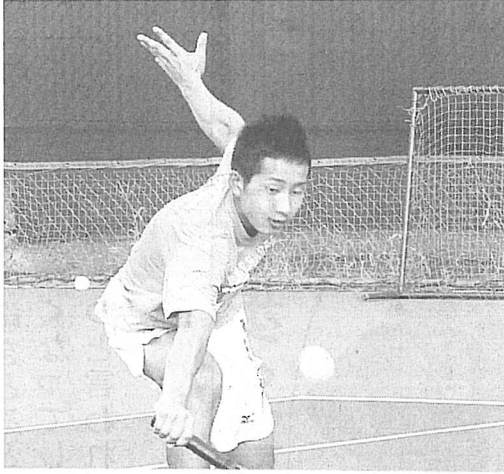


# テニス国別対抗戦「ジュニアデビス杯」



国別対抗戦に向けて、得意のバックハンドに磨きをかける河内選手(加古川市のトップランテニスカレッジ石守校で)

# 河内選手(相学院高)優勝目指す

今年28日からメキシコで開かれる、16歳以下の男子選手によるテニスの国別対抗戦「ジュニアデビスカップ」決勝大会に、私立相生学院高(本校・相生市野瀬)1年河内一真選手(15)が出場する。同大会での日本勢は、現在、世界を舞台に活躍する錦織圭選手らが出場した2005年の5位が最高とあって、河内選手は「さらに上の順位、優勝を目指したい」と意気込んでいる。

大阪府高槻市出身の河内選手は、2歳年上の姉の影響から4歳でテニススクールに入学。週6日間の猛練習で力をつけ、小学4年で、府内の12歳以下で行う「大阪ジュニアテニス選手権大会」で3位入賞し、頭角を現した。

09年11月には、全国のトップ選手で競う「U-15全国選抜ジュニアテニス選手権大会」男子シングルスで優勝。実力を認められ、今年1月、日本代表メンバー(男女各3人)に選ばれた。

今年4月、河内選手は、テニスの強豪校、私立相生学院高に入学。普段は、加古川市

## 強力バックハンド武器

の同高加古川校で午後3時まで授業を受けた後、市内の練習場で筋力トレーニングや、ボレー、ストロークの反復など約4時間の練習に取り組んでいる。

1才72、63と、海外の同年代の選手に比べると小柄だが、持ち前の強力なバックハンドが武器。指導する荒井貴美人教諭は「強いバックハンドを確実に打てる選手は少なく、対戦相手は気が抜けない」と大鼓舞を押し。

日本代表は、4月に16か国が出場したジュニアデビスカップのアジア・オセアニア予選をトップで通過し、勢いに乗っている。河内選手は「最高峰の選手たちと戦えるのが楽しみ。自分がチームを引っ張るつもりで頑張る」と抱負を語った。

「自分がチーム引っ張る」